

まらきら

今、ひとりひとりが...

特集

農業と生きる

女性からのメッセージ・・・2ページ

旬を楽しむ、よもぎ湯に入ろう!!・・・5ページ

男女共同参画課の本棚より

きらきら紙上講座・・・6ページ

KY(空気が読めない)なんて

言わせない

男女共同参画フォーラムレポート・・・7ページ

日本女性会議2007ひろしま

日本まんなか共和国

いきいき未来いが2008・・・8ページ



伊賀市
男女共同参画情報紙

第15号

2008年

特集

農業と生きる 女性からのメッセージ

豊かな自然、山と緑に囲まれた伊賀は、多くの農業の営みがあり、一見男社会に思われる。そこでは、多くの女性が活躍されています。今回は、生きがいに、農業に積極的に関わる女性を紹介しします。

地元の旬の素材を地域で生かす 鳥ヶ原のお母さんたち



出荷するお母さんたち



忝永 寿満子さん

一番おいしい時期に摘んだよもぎを冷凍し、あんこは毎日炊いて、一年中おいしいよもぎもちを提供しています。こんなにやくは、こんなにやく芋から作り、胡瓜のつけ

鳥ヶ原ならではの地域性を生かした女性たちの活動が、日本の食糧自給率30%を少しでも高め、旬と新鮮さを大切に地産地消につなげ、地域と家庭を元気にしていると感じた。

三年前、伊賀市合併を機に、しまがはら郷づくり公社となった「鳥ヶ原温泉やぶっちゃの湯」の敷地内に野菜販売所と加工所がある。ここで働いている元気の農業婦人達のグループがあると聞き、メンバーの一人である忝永寿満子さんに取材をお願いした。

取材したこの日、店先には、旬の大きな白菜、ほうれん草、チンゲン菜などが並んでいた。たくさん野菜の他にも豆類、芋類、椎茸、豆腐：：また、伊賀地域の特産のお茶や卵などもあり、見ているだけでも楽しめる。

「生産者として、自分で値段を決め、自分の名前のラベルを商品に貼り店に並べます。ここに集まるお母さんたちはとても元気です。積極的に情報交換をして売れる工夫を考えます。農業の世界では、

鳥ヶ原は、八地区に分かれているが、その中の六地区と、忝永さんの同級生班の計七班が、順番に曜日ごとに担当をして作っている。一班あたり3〜6人ですが、人員が足りない時はお互いさまで地区を越えて助け合い、製造しているという。

野菜は かわいい子どもたち

野菜を出荷・販売するのは、鳥ヶ原のお母さんたちだ（野菜出荷者は53人）。忝永さんも定年退職後、母親から畑を引き継ぎ、少しだが出荷している。

この新しくできた販売所と加工所は、野菜を一般消費者につなげ、昼間一人でいることが多かった高齢者・主婦にも人との交流の場を与えている。

みんなで取り組む

特に女性の仕事はお金に換算されにくいですが、ここでは、一ヶ月毎に売り上げが自分の収入になります。」

野菜販売所横の加工所は、



市 ちやん 野良 じまん

農業に、夢をたくす。

南出 和美さん

ええんじつてる

南出和美さんは、夫・紀光さんと縁あって、伊賀の地に期待と不安を抱えながら、十五年前に嫁いできました。

独身時代は、大阪の百貨店に勤務する街の人、初めはかなりのギャップを感じながら新婚生活をスタートする。

ある日、頬かむりをしてゴム長を履き、まさに農作業ファッションで田んぼへ、そこで近所の人に「ええしこしてるなあ（農作業服が似合う、農家にふさわしい、いいお嫁さんという意味）」と言われ、この時「ああ私は、ここ（伊賀）でがんばっていくんやな」と、心に決めたそうだ。

紀光さんは、JR勤務をしていたが、3人目が生まれた時に育児休暇を取得した。

JRで初めての育児休暇取得者として、大阪のテレビ番組に取り上げられるなど当時はかなり話題にのぼったと振り返る。

和美さんの仕事は、ヤギの世話に始まり農作業の他に、京都の市場への出荷や「道の

駅”での販売・経理と飛び回り、夫と四人の従業員と共に農業に情熱を注ぐ。

毎回うれい！
喜びを感じ作っています。

「カボチャの芽がピイっとできるとかわいいねん」と少女のように微笑み農業の楽しさを伝えてくれる。

「道の駅”では、丹精こめて育てた野菜を買ってもらい、『美味しかった！また来たよ』の言葉をもらう時が最高。お客さんとのやり取りが一番の楽しみで、私の農業という仕事の自信になっています。」



虫はだいじょうぶ！
でも、ヘビはだめです。

自分が行動に出なかつたら何もできない



南出 紀光さんと和美さん

農業の喜びは、「育み」

「お米や野菜作りはもちろん、さまざまな人との出会いと、ふれあいを楽しむ今の私があります。」

誰でも、一度は野菜づくりに挑戦してほしい。おいしさを知ってほしいです。」

体を大切にしてくださいね…
と思わず言ってしまったが、

「仕事熱心で一生懸命な紀光さんのためにも、出来ることをして、助けたいから。」と、深い愛情のある言葉を聞いた。

そして、「将来は、娘の内のでれかが一緒にしてくれたらいいな。」と和美さんの夢はふくらみます。

飾らない自然体の笑顔の中に「農業」に生きる女性の強さと誇りを感じた。

紀光さんより和美さんへ

「いつも

がんばってくれて

ありがとう」

(苦笑いしながらの

メッセージ)

もたくさん出来たとのこと。
何にでも積極的な和美さんは、毎年、壬生野小学校の児童にじゃがいも掘りを体験させ、自分たちで野菜を作る喜びを伝えている。

女性が大地を守る。

森下 光子さん

白樫で酪農をしている森下さん、生きものの相手の仕事なので限られている休憩時間の中で、熱い思いをお聞きした。

生きものが大好き

小さい頃から動物大好き！大阪出身の森下さんは、夫の清光さんと、ここ白樫で、豚5頭から牧場を始めた。初めは電気も水道も自分たちで引く苦労も。

現在、パートとして牧場に来ている娘さんは「小さい頃、ほったらかしで、私たちより豚に一生懸命な母でした。でも今、母親になって特に感じることは、忙しくても、家にいてくれたことです。見守ってくれていた安心感があつたな。」と振り返る。

動物を見ていると、強い母性愛を感じる。特に牛は離乳してからも、姿が見えないと



森下清光さんと光子さん

呼び合っているという。動物から学ぶことが多いですよ、と。

伊賀の農業を考える

「伊賀管内では、現在60%近い女性が農業の担い手です。色々な取組をしているが、伊賀市農業委員」として、地域農業を守るため、また、意欲ある担い手を育成して確保したい。

少ない女性委員として、女性の声を届ける立場で活躍して行きたい。」

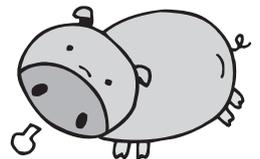
また「三重県農村女性アドバイザーとして伊賀名張の24名のメンバーと活動しています。これは、自らが農業に従事している女性が意見交換・研修会などで互いを高めあいながら地域リーダーとして食育活動の実践や男女共同参画の提言などを行なっています。」

我が家の男女共同参画

森下さんの牧場経営は、労働時間・休日、労働報酬、農業面の役割分担などについて夫婦間でよく話し合っています。

今は、清光さん

光子さんが豚を、別経営で息子さんは肉牛を扱っているが、「将来、息子のお嫁さんが経営に参画するようになったら、経営を一本化し『家族経営協定』による牧場経営を考えています。」と、皆がいきいきと働く職場環境つくりをめざしている。



農業への大きな思い

生産者の立場で物事に取り組んでいるが、消費者である一般女性と接する機会を作って、意見交換をしたり、専業農家で頑張る若い世代の女性の思いを聞いて伊賀の農業をもっともと元気にしていきたい。

農業の世界で、女性への理解を広げることは、一人では進まない「若い人に活躍の場を。もっと若い人に出てきてほしい」と若い人の面倒も見ながら、自ら力強く活動している。

農業は、食と切り離せない。そして、環境・伝統・文化にも深く関わっています。

特に、家庭で食を預かるのは、女性。食育に関心をもつ女性が大地を守る。と熱く語った。

子どもたちに食育についての理解を深めてもらうために、オリジナルキャラクター「ケロちゃん」の寸劇を学校やイベントで発表している。



旬の食べ物を感謝して残さずたべて、元気になろうね！

《本紙7ページの「大垣市で開催された『男女共同参画フォーラム日本まんが共和国』の分科会で「ケロちゃん」を通して命を育てる農業の大切さを発表された。》

旬を楽しむ!よもぎ湯に入ろう!!



よもぎ湯は血行を促進させるため、肩こりや腰痛、神経痛などをやわらげる働きがあります。また精油成分を豊富に含んでおり、すり傷、切り傷の止血や殺菌作用にも効果的で、よもぎの葉の香りはストレス解消や安眠にもよいといわれています。よもぎ湯の風呂で、ひと足早い春を感じながら、ゆったりと癒されてみませんか。

ご注意 よもぎ湯は、妊産婦のかたは、入らないようにしてください。

●作り方●

よもぎの葉には、殺菌・止血収斂作用のあるタンニンのほか、保温・発汗・解熱作用のある成分が含まれています。よもぎ湯は乾燥した葉はもちろん、生の葉でも作れるので、散歩のついでによもぎを摘んで手軽に楽しみましょう。

1 1回に使うのは、茎先20cmくらいの生のよもぎ5~6本です。細かく刻んで水から煮出します。



2 煮汁だけをこして風呂に入れます。



乾燥した葉=艾葉がいはようを使う場合は、6~7月によく育った葉を摘み取り、水洗いして陰干した30gを布袋に入れて浴槽に入れます。

参考：東京ガス株式会社HPより

男女共同参画課の本棚から・・・

啓発ビデオのご紹介です

★「大助 花子の 男・女どっちが得？」 VHS 26分★



女が得(損)か?男が得(損)か?みなさんどう思います?喫茶「花子」で・・・悩み多き、人々のつぶやきを聞きながら、男女共同参画社会とはどんなものかを感じていただきたいです。

その他のビデオ、書籍なども貸出しをしておりますので、グループやサークルで、また、研修会にと見ていただければと思います。お気軽に当課へお問い合わせ下さい。

伊賀市役所男女共同参画課 TEL 22-9632

KY

K Y (空気が読めない) なんて言わせない!!

人はみな家族や親戚、地域、仕事関係、友人などさまざまな人間関係のなかで暮らしています。日常生活を円滑にするための「会話」はとても重要なポイントになります。

春です、新しい出会いが待っていますよ

“あいさつ”は、第一印象を決める大切なもの
明るく、元気にハキハキと、言葉使いにも気を配りましょう。
笑顔であいさつをすると緊張もほぐれ、相手との距離が縮まりますね。

出会い・きっかけは
逃さない!!



会話上手な人より会話しやすい人に

ミラー・ニューロン仮説に基づいて
笑顔で相手の動きに合わせて、話を聴くようにすると、話し手は共感をもって話しはじめます。

無表情の会話では、相手も自然と無表情になり会話が弾まなくなります。鏡に映すように、相手と同じポーズや行動をとることで相手の気持ちを想像できるようになり、相手も受け止めてもらっていると感じ、リラックスして会話が弾むことでしょう。

さっそく今日から「笑顔」を心がけてみませんか？

“モテ女、モテ男”
への早道!!

表情豊かに。よい印象をもたれるように
努力も大事だね!

この会話術で妻と
話せば、おかげが
一品増える
かも???

よし!
さっそく妻との
会話に
試してみよう!



※一〇メモ

ミラーニューロン仮説とは

90年代にイタリアの研究者が提唱した仮説です。脳には相手の動作を見たとき、あたかも自分も同じ動きをするかのように活性化する神経群があるということです。人が話しているのを見たり聞いたりするときは、聴覚だけでなく言葉を発するため口やのどを動かす神経の領域も活性化します。この領域こそがミラーニューロン「鏡のような神経」だと考えられています。

男女共同参画フォーラムレポート

日本女性会議2007ひろしま

原谷 順子
(男女共同参画ネットワーク会議 会長)

国際文化都市「広島」で「日本女性会議」が始まりました。

全国から3、500人の参加があり、地元ボランティア500人が協力し、約2、600万円の寄付金を集め、市民主体の手作りで日本女性会議が開催されました。

まず、その地元ボランティアに男性も多く、男女共同参画社会が進んでいることに大変感謝しました。

基調報告では、内閣府男女共同参画局長の坂東久美子さんから男女共同参画基本計画（第2次）における新たな分野への取組など現状と課題を聞き、改めて我が国の現状について考えさせられました。

シンポジウムでは、世界を舞台に活躍している若者の平和活動や世界に発信する思いを聞き、若い女性の人達が何かを起こしたい一念から一歩ずつ歩き出し、つまずいては起き、歩き直し、又つまずき、そこから何かを生み出し平和を創りだす為に、唯一被爆国ゆえに話せる事も出来るという強い信念に胸を打たれ

ました。だから平和報道に携わることが出来るのだと思いをしました。

午後の部では、池田香代子さんの「世界がもし1000人の村だったら」に込められている深い思いを伺いながら、少しずつでも実現でき、平和な世界のくることを願わずにはいられませんでした。

また、2006年のノーベル平和賞を受けた「グラミン銀行」の取組を聞き、貧困層にこいつた銀行が増えていけば、女性の教育支援につながり、地位向上に役立つ男女共同参画社会の実現に近づけるであろうと思いましたが、帰ってきてインターネットにより情報を得てみると、問題点もあり、全てに良いというのは本当に難しいとあらためて思いました。



日本まんなか共和国 男女共同参画フォーラム

前山 正清
(伊賀市男女共同参画審議委員)

福井、岐阜、三重、滋賀の四県による「日本まんなか共和国男女共同参画フォーラム」が平成19年11月17日に大垣市で開催された。

記念講演は、京都大学大学院教授・内閣府男女共同参画会議専門調査会委員である伊藤公雄さんの「女性のチャレンジ、男性の元気で社会に活気を」男女共同参画社会がめざすもの」でした。

講演では、経済成長の裏側で起こっていた自然環境の破壊、家庭・地域の絆の希薄化。また、男性の長時間労働については、家庭をほっておいて日本の経済成長のためと「企業人」として猛烈に働かなければならなかった日本男性。そこには、「家庭人」の姿はなく、妻と子供との「団らん」はできなかったであろう。世界をグローバル化した激烈な競争社会を勝ち抜くために、男性が「外（仕事）」を、女性が「内（家庭）」を受け持つという分業がはつきり成り立って

いた。と。

私は、当時は、やむを得なかったと、この時代を振り返る思いで聴いていました。

また、少子、高齢社会に備える



ために男女とも六時間労働制を提案された。方針決定への女性の参画拡大の重要性を指摘され、男女共同参画社会は、個々が自分の個性と能力を十分発揮出来る多色刷りの社会だと結ばれた。

分科会は伊賀市から「活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画確立」にスマイルくの一の伊賀地区農村女性アドバイザー六人が参加し、農業活動の様子を寸劇で発表しました。

どの県も活発に活動されていて頼もしかったが、会場は九割が女性で男性の参加が望まれる。来年は三重県で開催の予定。男性のみなさんも参加されてみませんか。

いきいき未来いが2008



2月16日(土) ふるさと会館いがにて

オープニングは、「忍風」の躍動感あふれるダンス!!

アニメ『サザエさん』のマスオの声役で活躍されている声優・増岡 弘さんは、『サザエさん一家は幸福(しあわせ)みつけの達人ぞろい』と題し、マスオの今の声、声帯を乾燥させて30年後の声を出すなど、面白く聴かせてくれました。

サザエさん一家を例に出し、家庭での対話の大切さを話され、「言葉のキャッチボール」を通し家庭(家族)を大切にするのは、男女共同参画の出発点である。今ある小さな幸福をよしとして、世の中のこと、子育ても、関わった分だけ、苦労した分だけ幸福になる。と信じ助け合いながら日々を生きていかなければならない。と熱っぽく講演されました。



増岡 弘さん(左)



保育所(園) 絵画展



男女共同参画画柳



分科会・音楽療法

読者の声

前号では、いきいき活動されている女性達の話が載せられていて、頼もしく思いました。

男女に生きるという共同参画のもう一方の担い手の話もあればいいなあと感じました。どんな所でどんな風に男性達は輝いているのでしょうか? やっぱり職場なのでしょうかね?

どうも、古い女としては、わが息子に「男だから家族を養うように...」なんて我慢を強いる様に言ってしまうがちです。勿論、時として人には我慢も必要です。

「男も女も共に自分らしく」という社会、言うは易しですが、皆さんはどんな風な形を思い描いているのでしょうか。



(50代 女性)

編集後記

食の安全がさげばれている昨今、女性としては身近な問題として日々気にかかっている。

その食と切り離せない農業にたずさわる女性たちを取材させていただき、そのひたむきな前向きな姿に熱くなった。

そして『大地讃頌』という合唱曲の一節が浮んできた。

“母なる大地のふところにわれら人の子の喜びはある...”

その立つ土に感謝せよ...それは、

「女性たちよ、大地を守りましょう」と語りかけているように感じた。

(M)

【この号の編集委員】

岡 久美子 稲増 博美
竹山佐代子 藤田 量子
松永 啓子 三山佳代子
山本 並美